

楽園だより



保育園は7月27日より夏期保育体制に入ります。各学校も夏休みとなり、皆様のご家庭もこの夏に旅行など楽しい計画をお立てのことと思います。親子、家族関係がより濃密になれる時です。よい思い出を作ってください。

子供を危険から守りましょう！

夏場はさまざまな事件が起きやすい時です。こんなときこそ私達大人が子供達をしっかり守ってやらなければなりません。長期お休みの前にいつも配る「セーフティファイブ」をおたよりと一緒に渡させていただきますので、お子様の内容をよくお話しいただき、危険から身を守ることを教えてください。

なつやすみのおやくそく

子供達が家庭で暮らすなかでのおやくそくを別紙に記載いたしました。この内容について園では子ども達に話をしましたが、ご家庭でもお子様とよく話し合ってください、この夏を安全に過ごせるようお願いいたします。



〔 主食について 〕

7月27日～8月2日までの夏期期間中は、パンの購入は中止いたします。よってその期間中は、主食(パン、ごはん)を毎日持たせて下さい。

副食、間食は、園で作りますから持たせなくて下さい。

◆ごはんは、お弁当箱に白ごはんのみあっさり入れて下さい。

パンも食パン程度にして下さい。

◆サンドイッチや菓子パン、調理パン } 絶対に持たせなくて下さい。
フルーツ類、つけもの、菓子等

◆お子様が食べ切れる量を持たせて下さい。

◆未満児クラスは、今まで通り主食も園が準備いたします。

◆水筒は必ずお茶を入れて下さい。(お茶以外入れないようにお願いいたします。)



〔 特別保育日について 〕

◆特別保育期間は、アンケートで希望された方のみ保育いたします。

◆もし特別保育日にアンケートと異なり、保育を希望されたり、取り止められたりする場合は、必ず担任までご連絡下さい。

◆特別保育日に、ご主人様又はご家族がいらっしゃる場合、あるいは仕事以外のご用事の場合は、ご遠慮下さい。ご協力よろしくお願いたします。

◆特別保育日

*8月11日(火)～14日(金)

*早朝保育は、朝7時から、長時間保育は夕方は7時30分までです。

*バスは、巡回いたしません。

*昼食---8月11日(火)～14日(金)

8月1(土)・8月8(土)・8月15日(土)

} お弁当を持参して下さい。



8月の行事予定



11(火)～14(金) 特別保育日

21(金) 避難訓練

自由登園終了

24(月) お誕生日会

28(金) 午睡終了(年長組・年中組)

体育教室 = 20(年長組)・27(年中組)
31(年長組)

英会話教室 = 18・25・28

リトミック

18(モモ・チューリップ・スイートピー・たんぽぽ)

25(すずらん・スイートピー・さくらんぼ・こすもす)

マーチング = 19(年長)・26(年長)

身体測定 = 3(年長組) (0才児)

4(年中組)

5(年少組)

6(2才児) 7(才児)



コロナウイルスに気をつけよう！

- ・マスクをしよう。
- ・手指を消毒しよう。
- ・大きい声で叫ばないようにしよう。
- ・部屋の風通しをよくしよう。
- ・人の混んでいるところへ行かないようにしよう。

} いつも心掛けていきましょう。



夏の健康管理



◆熱中症の対処法

意識があれば、日陰や室内に移動させ、服をゆるめて体を冷やします。経口補水液やスポーツドリンクなどで水分・塩分を補給しましょう。水分は一気にとらず、一口ずつゆっくりとらせるのがポイントです。ぬれたタオルで①首、②脇の下、③足の付け根などを冷やしましょう。この部位は、大きな血管が通っているため、血液を冷やすことができます。

◆熱射病の対処法

39度以上の熱があったり、意識がなかったりしたときは、熱中症の中で最も症状の重い熱射病にかかっている可能性が高いです。命にかかわる危険な状態のため、すぐに119番通報し、急速に体温を下げる必要があります。

ぬれたシーツやタオル、大量の冷水などを体にかける。アイスパックや水などを①首、②脇の下、③足の付け根にあてて冷やします。

◆水分補給は十分に

暑いと、汗とともに体内の水分が失われます。水分補給は十分に行ってください。普通は麦茶や水などを飲めば十分ですが、長時間炎天下にいたり、汗をいっぱいかく活動をしたときは、スポーツ飲料などが良いでしょう。

◆暑くてもお腹を冷やさないように

部屋を冷やしすぎたり、クーラーを直接体に浴びたりすると、体が冷えて血行が悪くなりだるくなったり、お腹が痛くなったりします。予防には体を冷やしすぎないほか、温かい飲物や食物をとることも大事です。腹巻も寝冷え予防に効果があります。

◆プール熱の予防

- ・プールに入る前、あがった後はシャワーを浴び、目をしっかり洗い、うがいをしましょう。
- ・目やにからの接触感染もあります。タオルなど共有するのは止めましょう。
- ・流水と石鹸でよく手を洗い、うがいを励行することが大切です。

